

昌子の広場 第14報

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘2-13-10

Tel(Fax) 0725-54-2626

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/yoitikob/

02. 10発行 ホームページもご覧下さい

yahooの小林昌子で検索出来ます。

<この会報は再生紙を使用しています>



目次

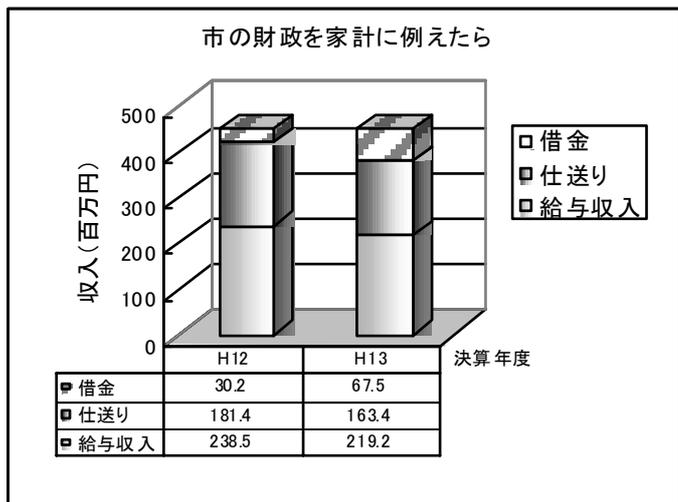
- ・平成13年度決算(案)が出ました P1
- ・9月定例議会の私の一般質問の内容です P2、3
- ・視察報告 P4
- ・昌子の広場 P4

今回よりタイムリーに皆様に情報をお伝えするため、1ヶ月に1回発行するように頑張りたいと思います。その関係でページ数が半減する結果となりましたがご容赦下さい。

平成13年度決算出る!

平成13年度決算が発表されました。

市税等の自主財源が伸び悩み、地方交付税も削減される中で財政運営を行うため、大幅な市債の発行増加を行っています。この結果市債残高は膨張を続け、中長期的な財政運営には厳しい見通しを持たざるを得ません。今年度の単年度実質収支は昨年度の赤字から黒字に転換したとはいえ、厳しい財政運営が続いています。



財政の状況をグラフで見ましょう。

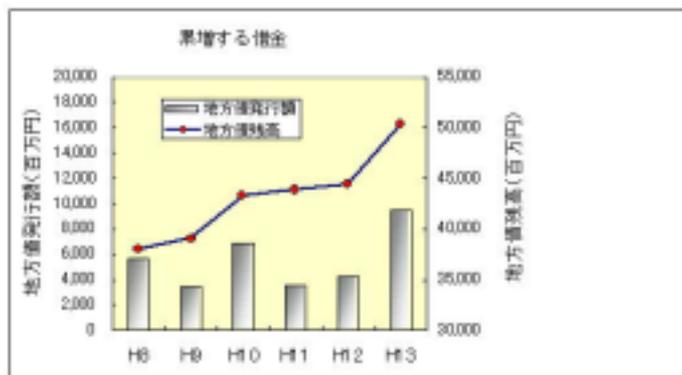
まず和泉市の財政を年収450万円のサラリーマンの家計に例えたと下ようになります。

給与収入にあたる自主財源は220万円で半分にも満たない状況です。

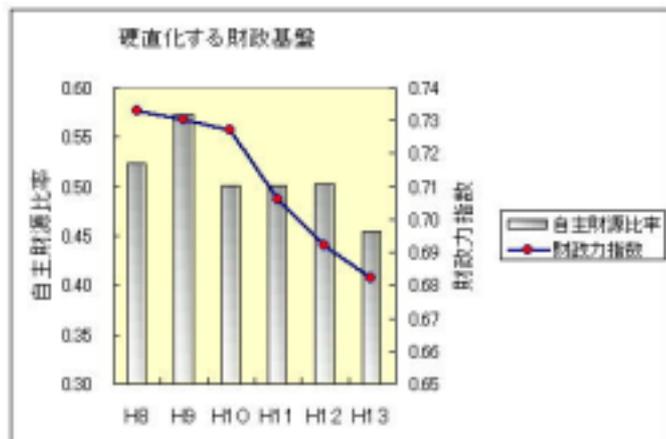
仕送りにあたる、地方交付税、国庫支出金、府支出金などがそれに匹敵する規模で180万円強、更に大きな問題はお金が足りないため借金にあたる市債が67万円と大きく増加していることです。

地方公共団体の場合はこの借金は道路や橋などの社会資本として残るため、家計と同じようには判断出来ませんが、返さないといけないことでは借金と同じです。敢えて言えば自動車を借金で購入したようなもので、飲み食い等に消費したものではないとは言えます。

このような借金は年々膨張を続けています。社会資本と引き換えに、後世に大きな負担を残すことになります。



これらの結果を反映し、財政基盤を表す、自主財源比率及び財政力指数も毎年悪化を続けています。先般私は市当局に財政の中期見通しを質しましたが、今年末には中期財政見通しが出る見込みですが、これをもとに規律ある財政運営が厳しく求められます。



第3回定例議会で一般質問しました

今回は次の4点を質問しました。

- ① 橋尾川ダムについて
- ② 小学校の施設等について
- ③ 環境条例について
- ④ 自動車文庫について

その要点をご紹介します。

尚以下の要約を解りやすくするため当日の質問以外での当局とのやり取りについても掲載しています。

< 槇尾川ダムについて >

論点は①ダム計画の不当性、②住民への正確な情報公開の2点です。

ダム計画の不当性について

①大雨が降ったときの洪水流量(基本高水流量という)を切り上げ処理で過大に評価していること

<質問>大阪府は100年に一度の大雨が降ったときの最大流量を710ト/秒と計算し、これを切り上げ処理して750ト/秒を基本高水流量としている。河川の改修等により河川の流下能力を700ト/秒とし、不足の50トをダムで対応する計画である。

従ってこの切り上げ処理をしなければ**10トの後に100億以上かけてダムを建設する**という事になる。無用な切り上げ処理はすべきではない。

<答弁>切り上げ処理は一般的になされていることであり、府内の主要河川も同様の処理をしている。

<再質問>**府内の主要河川でも切り上げ処理していない河川が存在し、且つ他府県での事例でもこれが一般的とは言えない。**切り上げ処理の根拠となっている千田稔氏の著書は個人的な見解と理解すべきであり、河道計画に関する権威ある著書にもそのような記述は見られない。

～議論は平行線～

②ダムサイトの基本高水が不当に高く見積もられていること

<質問>大阪府のダムサイトでの基本高水85ト/秒はダムの流域全てに1時間最大雨量の雨が降って、それが全てダムに集まったと考えた時の流量を上回っている。このような事はあり得ない。ダム計画が過大な証拠である。

<答弁>別の合理式で計算しても85トは正しい。ダムから最も遠い地点からダムまで洪水が到着する時間(洪水到達時間)が20分と短く、その影響で流量が相対的に大きくなる。

<質問>ダムから3.3Kmも離れた標高600mの槇尾山頂からダムまで20分で水が流れるなど、想像出来ない。20分の根拠を示してもらいたい。

<答弁>国土交通省砂防技術基準(案)に従い山から河道迄の流入時間と川のダムまでの流下時間の合計で算出した。流入時間は山地での流域面積2.0Km²での流下時間が30分であることをもとに今回の流域面積から換算して求めたのが10分と流下時間10分の合計20分である。

<質問>流入時間の計算が一つの方式でしか求められていない。上の技術基準(案)にも山地での**流入時間の計算は複数の方式で計算し評価するよう定められている。**大阪府の計算の内容(面積比での換算方法)にも疑義があり、他の方式でも流入時間を求めて欲しい。

<答弁>流入時間は標準的な方式で行っており、問題はない。他の方式で評価したければそちらで行って欲しい。

<質問>当方で計算した**他の方式での流入時間は40分から70分の結果が出ており、大阪府の10分は極端に短く、この値を使用することは危険である。**計算の詳細をチェックしたい。他の方式の計算ではダムサイトの基本高水は55トとなる。これは最初に述べた全ての雨水を集めた量の70%程度であり、一般的な山地での流出係数0.7とも一致する。**以上のことから大阪府のダムサイトの基本高水は過大すぎ、これをもとにダムが必要だと結論は暴挙と言わざるを得ない。**

得ない。

<答弁>計算については検証し、結果がでたら回答する。

<本件は私のHPに詳しく掲載しています>

③住民への正確な情報提供

<質問>大阪府はかねてよりダムが出来れば槇尾川上流部では100年対応が可能と説明している。ところがダム上流部の**大川橋ではダムが出来てもそれだけでは100年対応の流下能力には大幅に不足し、ダムでカットする50トの2倍の河川改修が必要**となっている。説明の矛盾がある。地元で正確な情報提供が必要ではないか。

<答弁>上流部とはダムと大川橋間をさしており、**大川橋ではダムのみで100年対応が出来ない**のは今までも言っている。矛盾はない。

<質問>一般的な上流部とは河川の中央から上流を指しており、詭弁だ。この情報をもとに地元住民はダムが出来たら安心と判断しているのではないのか。再度正確な内容で住民への説明をすべきだ。

<答弁>機会を捉えて説明会を行いたい。

< 小学校の施設等について >

今夏私は市内の20の小学校を全て見学し、その結果を踏まえ今回は施設の問題について質問致します。

①フールの洗体槽について

旧厚生省は遊泳時の衛生基準にてプールの洗浄はシャワーで十分、腰洗槽は不要との通知を出しましたが、市内の使用実態と廃止に向けての考えをお聞かせ下さい。

<答弁>小学校で10校が使用中で、中学校はなし。学校薬剤師等のに意見を聴取し、**廃止している自治体の実情も勘案し、検討して参りたい。**

②学校の維持補修費等について

<質問>学校の維持補修費と学校配当についての考え方は。堺市では校長の裁量で迅速な処理をしているが。

<答弁>維持補修費は年間小学校で618万円、中学校で309万円。学校配当はしていないが、事務の効率化等の観点から**前向きに検討したい。**

<再質問>学校配当はどれぐらい考えているか。

<答弁>現時点では具体的に申せないが他市の事例を参考に来年度に向けて検討したい。

<質問>**学校消耗品の購入**について市の登録業者でないと購入できないが、他市では急ぐ時や価格等の理由で他の業者から購入している。検討できないか。

<答弁>現在1件10万円未満の消耗品は学校長専決で、指名登録業者から購入しているが、学校要望もあることから、他市の事例も参考に検討したい。

③スクールゾーンの現況及び登下校時の安全について

<質問>スクールゾーンの現況及び登下校時の交通事故の実態について聞かせてほしい。

<答弁>スクールゾーンの登下校時の車の規制は十分守られているとは言えない。対策としては警察官が学期初めや月初めに立ち番をしたり、教職員やPTAが交通安全の指導に当たっている。交通事故は小学校5件、中学校1件で、入院は2件です。通行規制道路での事故は無かった。

<質問>**押しボタン式分離信号の導入は考えられないか。**

<答弁>横断中の交通事故は3件あったが、こうした事故に**有効な手だてとして、関係課ともあわせて警察に要望したい。**

⑤ 学校施設等について

＜質問＞今後の増設及び新設時のエコスクールの導入及び地域との連携に取れる余裕教室の活用について。

＜答弁＞現状においても環境に配慮した改修を行っているが**一部エコスクールの導入も視野に入れながら検討**したい。余裕教室については児童の減少傾向を考慮し、地域教育の推進が図れる効果的な利用を目指して、検討すべき課題と認識している。

＜質問＞職員室へのクーラー設置の考え方、及び設置計画について

＜答弁＞職員室へのクーラーの設置については議会からの要望及び府下他自治体で既に導入されていることから、快適な職場維持のために、**前向きに検討**したい。

財政的な問題もあるので年次計画を策定して取り組みたい。

＜質問＞図書費の配分について。各校均等割りのウエイトが高いため、児童数の多い学校は一人あたりの図書費が非常に少ないという矛盾が出ている。

＜答弁＞学校図書館の水準を維持しつつ、格差是正のため均等割額の見直しを検討したい。

＜質問＞司書ボランティアは1年の配置では短すぎる

＜答弁＞原則1年であるが2年の例もある。**3学期早々に次年度の派遣について意向を打診**したい。ボランティアの意向も聞きながら、複数年派遣を検討する。

＜質問＞給食食器への陶磁器の導入についての考え方について。

＜答弁＞平成15年以降、出来るだけ早い時期にモデル校選定を考えたい。

＜自動車文庫について＞

＜質問＞来春シティープラザ図書館の開館に伴い、図書館から近いところについては、自動車文庫の巡回が廃止されると聞いているが、自動車文庫の現状及び今後の展開について。

＜答弁＞自動車文庫の利用状況であるが、平成13年度実績では67,350冊で、32カ所巡回し、シティープラザの開館により19カ所を廃止及び統合する方向で検討している。

一台の年間の維持費は約2500万円である。今後は現図書館、シティープラザ図書館の2館を核とし、にじの図書館を含めた3館によりサービス網の充実等を図っていきたい。

＜質問＞廃止予定の箇所でも利用者が多く、且つ継続の要望が強いところには、**何らかの柔軟な対応が出来ないか**。

＜答弁＞シティープラザ図書館に比較的近い地域については、年間の開館日や開館時間も大幅に拡大し、今より豊かなサービスを提供できるものと考えている。

団体貸出制度もあるので、それらの活用も含めて利用して頂きたい。

＜環境保全条例について＞

＜質問＞9月半ば盛土の崩落がありました。盛土行為については条例の19条で許可が必要ですが、崩落の原因について。

＜答弁＞法面の傾斜角度の改善中に発生したもので、地下浸透水の処理対策が不十分な事、盛土勾配が適切でなかった事が原因である。現在復旧工事に取りかかっている。

＜質問＞市の指導経過は

＜答弁＞抜き打ち的に現場パトロールを実施し、条例違反が確認できた場合は、その都度口頭指導、文書での措置命令(5回発行)している。

＜質問＞新河川法では治水はため池や、山林、遊水池など流

域全体で小さなものを集めて治水力を確保するとなっているが、今後このような埋め立てをどう考えるか。

＜答弁＞**和泉市の山林が、残土で埋め尽くされないよう、協議の際には十分話し合っていく**たい。

＜質問＞条例の規制強化は出来ないか。

＜答弁＞残土埋め立て行為に関する高さ、土質、傾斜角度等の問題点、課題を抽出し、法的根拠を確認しながら検討を進めたい。又関連法令を参考に、指導に当たっての運用マニュアルを作成し、慎重に埋め立て許可の判断を行うと共に、行政指導を行いたい。

いずみ霊園(仮称) 来年3月完工予定で工事中

現在来年3月完工を目指して新しい霊園(いずみ霊園～仮称)が建設中です。

概要が明らかとなりましたのでお知らせします。

＜工事概要＞

- ・工期 平成13年10月より平成15年3月20日
- ・工費 本体 3,307百万円
炉設備 412百万円

今回の葬祭場

は、敷地内の既設の和泉市営火葬場の建て替えであるため、新葬祭場は北側の山林を造成して敷地を拡充し、建設している。自然環境を活かした計画となっている。

建物は池・モニュメント等によって象徴的な外部空間となる中央のロータリーを取り囲むように、右から多目的ホール、火葬部門、

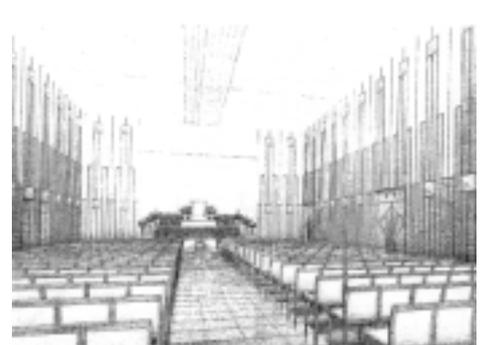


待合い部門と配置されている。

多目的ホールは最大342人収容可能で、周辺住民の教養の向上と、健康の増進を図るための施設

とし、通夜・告別式を行う設備である。併設して72人収容可能な和室、

102人収容可能な集会室等が配置されている。



熊本県五木村へ行政視察 川辺川ダムについても視察

五木の子守唄で知られる熊本県球磨郡五木村を訪れ、川辺川ダムについて視察しました。午後1時からおよそ2時間の視察には村長や議長も対応してくださいました。川辺川ダムは治水と利水目的のダムです。



30余年前の事業計画費は340億円でしたが、平成8年までに1121億円投資し、平成13年に1520億円プラスされたので総事業費は2650億円、総貯水量13300万m³、取水面積470km²の大規模なダムです。

昭和45年にダム建設反対の決議をあげた五木村ですが、紆余曲折を経て現在はダムによる地域おこしを行おうとしています。本体の完成予定は平成21年頃の予定ですが、正式に本体工事着工とは決定されておらず、9月25日の結審の県収用委員会の結論や9月末の住民討論集会の結果など、まだまだ流動的な面を残しているそうです。

しかしダムにゆれる村の様子は全国のダム建設予定地同様、ここ五木村も例外ではありませんでした。

ダムに対する村民のニュアンスにも微妙なものがあり、絶対反対から条件付反対まで対応は千差万別だったようです。熊本日日新聞によると国土交通省は安全を見越して高めの数字を設定し、ダムによるカットを主張。一方市民団体側は数字そのものが実態に合わないとして主張し、独自に専門家による数字を示し、河床を掘り下げて十分対応できると主張している。

国事業の川とは言え建設となれば熊本県にも400億円の財政負担が重くのしかかる。

潮谷知事は次の選挙までにはゴーか中止かの決断が迫られるのは必定です。

新聞投書から

下は朝日新聞に掲載された高石市0さんの投書です。全く同感です。市政に携わる一人として肝に銘ずべきと思いここに掲載します。

補助金はみな国民の税金だ
市の福祉大学講座で「市政について」の講演を市長から受けた。ほとんどの話はなるほどと納得した。だが、ある公共工事についての説明には疑問を感じた。
「費用は、国と府が8割負担してくれて、市は10%の負担だけでよいのです」市の負担さえ少なければよいという発想。
国や府の負担分は勝手にわいてきた金だと思っているのだろうか。その金も国民の税金なのである。
私は、その工事が必要かどうかを考えるのがまず先で、費用をどのようにひねり出すかは後からの問題だと思ふ。
「国や都道府県の負担なら」と考える市長が、全国で無駄と思える公共工事を次々と行っている。
その結果、赤字が累積する高速道路、橋などができ、ダムや埋め立てで環境破壊が進み、国や自治体の財政は借金だらけになっている。

昌子の広場

<昌子の日記から>

- 9/2 ハート企画学習会
- 9/3 光明台小学校見学、100人委員会、小地域ネットワーク
- 9/4 介護保険勉強会、ピース教室
- 9/5 四条畷市長選応援
- 9/6 国府小学校見学
- 9/7 サイエンスフェスタ
- 9/8 里道清掃、ダム定例会
- 9/9 和泉中央駅会報配布
- 9/10 100人委員会NPO部会、和泉中央駅会報配布
- 9/11 ちぎり絵教室
- 9/12 光明池駅会報配布
- 9/14 万葉講座
- 9/15 宇田有三 フォトトーク
- 9/17 議会運営委員会、アイあいロビー環境部会、和泉中央駅会報配布
- 9/18 小林昌子事務所運営委員会
- 9/19 小地域ネットワーク、いきいきサロン、教育委員会会議傍聴、和泉府中駅会報配布
- 9/20 和泉中央駅会報配布
- 9/27 総務文教委員会
- 9/30 議会運営委員会、女性消防クラブ

<事務所行事>

★ちぎり絵講習会(13-16時)

- ・講師 西原志満子さん 教材費実費
- ・11/13(水) 来年の干支「羊」を作ります。

★介護保険シリーズNo10

- ・10/23(水) 特養「ひかりの園」見学会

事務所前 10時集合、出発
12時頃帰着予定 参加費無料

車の準備のため10/19(土)迄にお申し込み下さい Tel 0725-54-2626 小林昌子

★介護保険シリーズNo11

- ・11/20(水) 10:~12:

「訪問調査を受けるときの心得について」
(第2回目) 講師 金子稔さん

★介護保険シリーズNo12

- ・「サンガーデン府中」施設見学
- ・11/27(水) 事務所前10時集合、出発
- ・参加費無料
- ・車の準備のため11/22迄にお申し込み下さい
0725-54-2626 小林昌子

★「和泉シティープラザのあれこれ」

- ・10/30(水) 13:30~15:30 参加費無料

来春4月にオープン予定のシティープラザ。形もできあがり、どんな運営がされるのか興味のあるところですね。(図書館の事、お風呂のこと等)シティープラザの今までと、これからについて和泉市の職員に聞いてみませんか。

★パソコンで遊ぼう(無料)毎週土曜日14時~

オリジナルな年賀状を作ってみませんか!
名刺作成などみんな楽しく勉強しています。
現在女性の方数名が楽しんでます。初めての方はご連絡ください